

がまんできない、つらい痛み

第②類医薬品

ピリン系解熱鎮痛薬 セデス・ハイG

シオノギ製薬

セデス・ハイGは、鎮痛作用の強いイソプロピルアンチピリンをはじめ4種類の成分を配合することにより、強い痛みにもすぐれた鎮痛効果をあらわします。



使用上の注意 ……

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
 - 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
 - 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくをおこしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください（眠気などがあらわれることがあります）
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください

相談すること



- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
 - 医師または歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦または妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
 - 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がないなどが持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢などがあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱などがみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しいなどがあらわれる。

(裏面につづく)

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

…… 効能・効果 ……

- 頭痛・月経痛（生理痛）・歯痛・神経痛・腰痛・外傷痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

…… 用法・用量 ……

次の量をなるべく空腹時をさけて、水またはぬるま湯でおのみください。
また、おのみになる間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15才以上）	1 包	3 回を限度とする
15才未満	服用させないこと	

- 定められた用法・用量を厳守してください。

…… 成分・分量 ……

セデス・ハイGは、白色の顆粒剤で、1包（1g）中に次の成分を含有しています。

成 分	含 量	は た ら き
イソプロピルアンチピリン（IPA）	150mg	熱を下げ、痛みをやわらげる
アセトアミノフェン	250mg	
アリルイソプロピルアセチル尿素	60mg	痛みをおさえるはたらきを助ける
無水カフェイン	50mg	痛みをおさえるはたらきを助けるほか、頭痛をやわらげる

添加物として乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、含水二酸化ケイ素を含有しています。

…… 保管および取扱い上の注意 ……

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に保管してください。
- （2）小児の手の届かない所に保管してください。
- （3）他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり、品質が変化します）
- （4）使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



…… お問い合わせ先 ……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。
塩野義製薬株式会社「医薬情報センター」
電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450
受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について
（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

®:登録商標

製造販売元

塩野義製薬株式会社
大阪市中央区道修町3丁目1番8号